

漢字・語句の復習「漢字の書き」

年 組 名前



① 「訓読み」次の(1)～(7)の文の——部のカタカナを漢字に直し、楷書かいしよでていねいに書きましょう。

- (1) 友達に本をカす。
- (2) 燃料をオギナう。
- (3) 鉛筆をカりる。
- (4) 計画を行動にウツす。
- (5) アマったお金を貯金する。
- (6) 紙をひもでタバねる。
- (7) 先制点をユルす。

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
す	ねる	った	す	りる	う	す

② 「音読み・熟語」次の(1)～(7)の文の——部のカタカナを漢字に直し、楷書かいしよでていねいに書きましょう。

- (1) 地域の人をシヨウタイする。
- (2) おやつをキントウに分け合う。
- (3) 円のハンケイを求める。
- (4) 地図のシユクシヤクを調べる。
- (5) 今までにないドクソウ的な考えだ。
- (6) 雨で運動会がエンキになる。
- (7) 舞台のマクが上がる。

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
		(的)				

漢字・語句の復習「漢字の書き」

解答 答



「解答」

「Let's try!!」

1 貸す

(2) 補う

(3) 借りる

(4) 移す

(5) 余った

(6) 束ねる

(7) 許す

* 三つの「うつす」の意味の違いを国語辞典で調べてみましょう。

・机を別の部屋に移す。

・ノートに字を写す。

・鏡に姿を映す。

* 「許」の音読みは「キヨ」です。「許」を使う熟語にはどんなものがありますか？

2 招待

(2) 均等

(3) 半径

(4) 縮尺

(5) 独創的

(6) 延期

(7) 幕

* 2の熟語に使われている、次の漢字の訓読み(意味)を確かめましょう。

招く

等しい

延ばす



* 「創」という漢字以外を用いる「独ソウ」という言葉をあげてみましょう。

漢字・語句の復習

「漢字の読み、同訓・同音の漢字」

年 組 名前



① 次の(1)～(8)の文の——部の漢字の正しい読みをひらがなで書きましょう。

(1) 草木が繁茂している。

(2) 入会を勧める。

(3) このホールは音響効果が良い。

(4) 考えに相違がある。

(5) 社会を風刺する。

(6) アユの稚魚を放流する。

(7) 詳細に述べる。

(8) 目上の人を敬う。

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
う					(効果)	める	

② 次の(1)～(3)の文では、最も適切な言葉を、(4)、(5)の文では、——線部に当てはまる漢字として正しいものを、それぞれ()のア～エの中から一つずつ選び、記号に○を付けましょう。

(1) 調査結果について、報道(ア機関 イ帰還 ウ器官 エ期間)に対して説明する。

(2) 会議で決を(ア執る イ撮る ウ捕る エ採る)

(3) 今年の夏の暑さには(ア平行 イ平衡 ウ並行 エ閉口)した。

(4) 中学生をタイシヨウ(ア象 イ照 ウ称 エ章)に調査する。

(5) 新聞を読むシユウカン(ア間 イ慣 ウ刊 エ感)を身に付ける。

漢字・語句の復習

「漢字の読み、同訓・同音の漢字」



解答 空白

【解答】

【Let's try!!】

1

(1) はんも

* 「繁茂(はんも)」「詳細(しょうさい)」

(2) すす(める)

は、どちらも「似た意味の漢字を二つ組み合わせた熟語」です。

(3) おんきよう (効果)

このような「似た意味の漢字を二つ組み合わせた熟語」の他の例をあげてみましょう。

(4) そうい

(5) ふうし

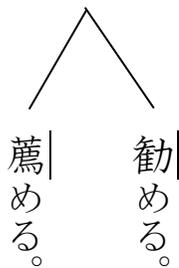
(6) ちぎよ

(7) しょうさい

(8) うやま(う)

* 次の場合はどちらの「すすめる」を使うのが正しいですか。確かめてみましょう。

友達に面白い本を



2

(1) ア 機関

(2) エ 採る

(3) エ 閉口

(4) ア 象 (対象)

(5) イ 慣 (習慣)

* 三つの「対しょう」の意味を、それぞれ

国語辞典で調べましょう。

- ・ 対象
- ・ 対照
- ・ 対称



漢字・語句の復習「慣用句・ことわざ」

年 組 名前



① 「慣用句」次の(1)～(5)の文では、() 中のア～エまでのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選び、記号に○を付けましょう。

- (1) 彼がこの討論の(ア 火種 イ 点火 ウ 火薬 エ 口火)を切った。
- (2) 弟子を手塩に(ア まいて イ ひいて ウ かけて エ にぎって)育てる。
- (3) 会長候補として、白羽の矢が(ア 立つ イ 刺さる ウ 飛ぶ エ 向かう)。
- (4) 意見の折り合いを(ア たてる イ かける ウ つける エ なす)る。
- (5) 彼は(ア 水気 イ せき ウ 紙 エ くう)を切ったように話し始めた。

② 「ことわざ」次の(1)～(4)の文では、() 中のア～エまでのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選び、記号に○を付けましょう。

- (1) 彼には、いくら言っても「(ア 猿 イ 馬 ウ 牛 エ 猫)の耳に念仏」で効果がない。
- (2) 笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを「笑う(ア 人 イ 庭 ウ 所 エ 門)には福来たる」という。
- (3) よい結果を早く出したいときは、(ア 一事が万事 イ 論より証拠 ウ 急がば回れ エ 光陰矢のごとし)といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。
- (4) 彼女は、学級の(ア 縁 イ 床 ウ 板 エ 面)の下の力持ちと言える存在だ。

漢字・語句の復習「慣用句・ことわざ」

解答 次



「解答」

1 「慣用句」

- (1) エ 口火（口火を切る）
- (2) ウ かけて（手塩にかける）
- (3) ア 立つ（白羽の矢が立つ）
- (4) ウ つける（折り合いをつける）
- (5) イ せき（せきを切ったよう）

2 「ことわざ」

- (1) イ 馬（馬の耳に念仏）
- (2) エ 門（笑う門には福来たる）
- (3) ウ 急がば回れ
- (4) ア 縁（縁の下の力持ち）

「Let's try!!」

* 「口火（くちび）」は、燃料や導火線に点火するときの火のことです。

そこから、「口火を切る」は「ある物事を最初に始める」という意味の言葉として使われています。

では、1の問題にある、次の言葉はどういう意味なのか、調べてみましょう。

・「手塩てしお」（2）手塩にかける

・「せき」（5）せきを切ったよう

* 次の慣用句は、文化庁による調査で「本来の意味とは違う意味で使っている人が多い」ことが分かっているものです。本来の意味を確かめてみましょう。

・「なし崩しくず」

・「檄げきを飛ばす」

・「ぞつとしない」



漢字・語句の復習「単語・敬語」

年 組 名前



① 「単語」次の(1)～(6)の文では、() 中のア～エまでのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選び、記号に○を付けましょう。

- (1) 急いでいるときは、靴をはくのも(ア おこがましい イ いちじ
るしい ウ もどかしい エ はなはだしい)。
- (2) 節分のときに、鬼をおいはらう(ア はからい イ ならわし
ウ とりなし エ うけあい)は、今でも続いている。
- (3) わたしが健康になったのは、(ア ひとえに イ ほのかに ウ い
ちずに エ むやみに) 母のおかげです。
- (4) 兄は困っている人を見るとほうっておけない(ア 品格 イ 資質
ウ 性分 エ 器量)だ。
- (5) (ア たてこもる イ たちならぶ ウ たなびく エ たたずむ)
雲の間から、春の光がもれている。
- (6) 友達に将来の(ア 抱負 イ 初心 ウ 意志 エ 感想)を話す。

② 「敬語」次の(1)～(3)の文では、() 中のア～エまでのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選び、記号に○を付けましょう。

- (1) 校長先生は、壁にはった生徒の絵を(ア 拝見しました イ 拝見
されました ウ ご覧されました エ ご覧になりました)。
- (2) 参観日には父が学校へ来ると(ア 申して イ おっしゃって
ウ 話されて エ 申されて)おりました。
- (3) 私が先生のお宅に、(ア 承ります イ いただきます ウ 参りま
す エ いらっしやいます)。

漢字・語句の復習「単語・敬語」

解答 答

「解答」

1 「単語」

- (1) ウ もどかしい
- (2) イ ならわし
- (3) ア ひとえに
- (4) ウ 性分 (しょうぶん)
- (5) ウ たなびく
- (6) ア 抱負

2 「敬語」

- (1) エ ご覧になりました
- (2) ア 申して
- (3) ウ 参ります

「Let's try!!」

* 次の言葉は、文化庁による調査で「本来の意味とは違う意味で使っている人が多い」ことが分かっている言葉です。本来の意味を確かめてみましょう。

- ・「やおら」
(例) 彼はやおら立ち上がった。
- ・「さわり」
(例) 話のさわりだけ聞かせる。
- ・「役不足」
(例) 彼には役不足の仕事だ。
- ・「失笑 (する)」
(例) 彼の行為を見て失笑した。
- ・「奇特 (だ)」
(例) 彼は奇特な人だ。

